

標高差に着目した施策の展開 ～垂直ゾーニング～

資料 3－2

＜ゾーン区分＞

＜施策展開の考え方＞

＜長野県の特徴＞

【山岳・高原ゾーン】



（駒ヶ岳 八丁坂の登山道）



（上高地 穂高連峰）

- ・特別地域の指定などの行為規制等により、優れた自然の風景地を保護するとともに、そこに生息する野生動植物の保護や外来種対策等の活動を通じて、生物多様性の保全に取り組みます。
- ・国・地方公共団体・山小屋関係者等との協働により、登山道等の施設整備を進めるなど、豊かな山岳の環境を維持するとともに、登山者等の安全確保に取り組みます。

【中山間地ゾーン】



（嬬捨の棚田）



（なべくら高原のブナ林）

- ・豊かな自然環境を活かした体験学習などを通じ、県民の環境意識の向上を図ります。
- ・農地の適切な管理、森林資源の循環利用や森林の適切な整備、野生鳥獣被害への対応などにより、集落を維持し、農山村や森林が持つ多面的機能を維持・発揮させるとともに、美しい里山景観の保全・創出を図ります。
- ・水源地帯の森林の適切な維持管理等を通じ、水源の涵養かんに取り組みます。
- ・豊富に存在する水資源を活用した小水力発電の普及拡大に取り組みます。

【市街地ゾーン】



（屋根での太陽光発電）



（EVと充電設備）

- ・建築物の屋根での太陽光発電の普及や、建物の省エネルギー対策、自動車から公共交通への転換促進等を通じ、都市活動による環境への負荷が小さいまちづくりに取り組みます。
- ・水質や大気環境等の維持・改善に取り組み、県民の生活環境の保全を図ります。
- ・県民、事業者、自治体等と連携した4Rの推進を図り、プラスチックごみや食品ロスなどの削減に取り組みます。

（「上高地 穂高連峰」・「嬬捨の棚田」・「なべくら高原のブナ林」の写真提供：長野県観光機構）

【山岳・高原】

- 全国1位 3,000m級の山 15座
- 全国3位 自然公園※の面積 2,779km²（R3.3／環境省）
※国立・国定・県立公園
- ユネスコエコパークの登録数 2箇所（志賀高原・南アルプス）
- ジオパークの認定数 2箇所（南アルプス・苗場山麓）

【生物多様性】

- 全国1位 チョウの生息数 149種（H8.5／「信州の蝶」）
- 全国初 生物多様性保全パートナーシップ協定の構築（H27）

【森林】

- 全国3位 林野面積 103万ha（R2／農水省）
- 全国1位 森林セラピー認定箇所 10箇所
（R3／NPO法人 森林セラピーソサエティ）

【景観】

- 全国3位 「つなぐ棚田遺産」認定箇所数15箇所（R4.3／農水省）

【水資源】

- 「名水百選」選抜総選挙
「観光地として素晴らしい名水部門」（H27.3／環境省）
第1位 安曇野わさび田湧水群、第2位 まつもと城下町湧水群
- 「名水百選」選抜総選挙
「景観が素晴らしい名水部門」（H27.3／環境省）
第1位 安曇野わさび田湧水群

【脱炭素】

- 小水力発電の導入ポテンシャルの高さ（H22／環境省）
 - ・農業用水 地点数：全国5位 設備容量：全国7位
 - ・河川部 地点数：全国2位 設備容量：全国6位
- 小水力発電の設置箇所数 65箇所（R4.3／長野県）
- 全国2位 住宅用太陽光の普及率 10.8％（R4.3／長野県）

【大気環境】

- OPM2.5の環境基準 11年連続達成（H22～R2／環境省）

【廃棄物】

- 全国2位 1人1日当たりのごみ排出量の少なさ
807g／人日（R2／環境省）